

学習指導力・ ICT教育実践力 開発コース

インターネットを
使って働きながら
大学院で学べます

3~5年の長期
履修で無理なく
教職修士(専門職)
の学位を取得
できます

鳴門教育大学教職大学院遠隔教育プログラム

私たちのコースでは
このような先生方の
キャリア支援を
行います



- 自らの学習指導のあり方に課題を見出し、自ら課題を解決しようとしている先生
- 中堅教員として学習指導をリードしておられ、教科・研究主任としての力量形成を図ろうとしている先生
- 学習指導と生徒指導を充実させた学級経営を念頭に、学校管理職を目指されている先生

- 教科等横断的な視点に立った資質能力を育成する高度な授業実践力・開発力を持ち、ICTを活用した教育の未来を創る教師を育てることを目指しています。
- 学級経営や生徒指導を視野に入れながら授業計画を立て、実施と評価を行い、リフレクションを通して授業改善に取り組むことのできる教師を育成します。
- 教育学、教育心理学、教科教育学、社会情報学等の専門的な知識・技能を教育実践に活かし、教科や総合的な学習の面白さや有用性を伝えることのできる教師を育成します。



学習指導力・
ICT教育実践力
開発コース
における**教育目標**

遠隔教育 プログラムの特徴

- スクーリングを用いた大学教員や遠隔学生との対面授業、web会議システム（ZoomまたはTeams）によるLive授業
- オンデマンド教材による自己ペースでの学習や研究
- 勤務校や日本の教育課題をタイムリーに連結させたリフレクション学習
- 全国の教員・通学生との交流による学習指導（ICT教育実践を含む）の視野を広げる機会

実践研究指導

- 現場での実践事例等についてリフレクション授業を中心に実践研究指導を行い、各自の教育実践研究として結実させます。
- 実践研究を通して実際に役立つ力としての教育実践力の育成を図ります。

修業年限と授業料

- 大学院の標準修業年限は2年ですが、遠隔教育プログラムでは、現職教員が働きながら無理なく学ぶことができるよう3～5年を選択できます。
- 授業料は2年分で、3～5年の場合はそれを3～5年で割った額となります。

教職大学院の カリキュラムと 履修スケジュール

- 教職大学院のカリキュラムは、共通科目18単位（13科目）と専門科目18単位（おおよそ10科目以上）および実習科目10単位（2科目）です。ただし、遠隔教育プログラムには、実習科目が免除される制度があります。
- 授業の内容や形態に合わせて、Semester（前期・後期）とQuarter（前期前半・前期後半・後期前半・後期後半）で区分し、1単位の授業はQuarterで、2単位の授業はSemester、4単位の授業は通年で完了するよう設定されています。
- 1週間で取組む授業は概ね4科目程で、オンデマンド教材により個々の都合に合わせた授業形態が基本となっています。
- 実践や実践研究をリフレクションする演習やゼミナール形式の科目は指導教員と日時を調整してweb会議システムで実施します。
- 学校の休業期間にスクーリングを行う科目もあります。

学習指導力・ICT教育 実践力開発コースの 履修科目の例

共通科目

- カリキュラムデザインの理論と実践
- 教科カリキュラムの構成と理論
- 授業の理論と実践
- 教育評価の理論と実践
- 生徒指導の理論と実践
- 学級経営の理論と実践
- 教職協働実践演習Ⅰ・Ⅱ

専門科目

- 学習者の心理とアクティブラーニング
- 教科・研究主任の力量形成
- 校種間連携に視座した教材・教具の開発演習
- 教育評価の実際と事例分析
- 1人1台タブレット時代の授業改善・教育改善
- 総合的な学習の時間のカリキュラム開発
- 教育実践研究Ⅰ・Ⅱ（学習指導力開発）

